

埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 会報

# 第717号

令和5年7月20日編集

発行所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電話 048(645)1906  
FAX 048(648)1865  
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL : <https://www.saitama-vma.org/>  
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋  
編集責任者 高橋 一成  
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

## 記事の内容

公益社団法人埼玉県獣医師会第75回定時総会  
開催 (詳細版) ..... 1  
第41回ソフトボール大会の開催について...25

会務報告  
厚生委員会 (書面開催) .....26  
第3回理事会.....26

新入会員報告  
新入会員紹介.....27

予告  
令和5年度千葉県獣医師会第2回学術セミナーの開催について.....29

## お知らせ

埼玉県からのお知らせ.....31  
日本獣医師会からのお知らせ.....34

埼玉県獣医師会学術広報版 .....40

事務局より  
事務局メモ.....41

編集後記.....42

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

## (公社)埼玉県獣医師会第75回定時総会開催

令和5年6月7日(水)午後2時から、さいたま市「ロイヤルパインズホテル浦和」に於いて、多くの会員を始め、御来賓等、総勢230名を超える関係者が出席して、第75回定時総会が盛大に開催され、全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。

総会は、総務委員会の大橋邦啓委員長（北支部）の総合司会により、各総務委員が役割を分担して、次により進められました。

### (1) 開会の言葉

中村 滋副会長が開会を宣言した。

### (2) 埼玉県獣医師会員憲章の唱和

栗原 新委員（西支部）の進行により、全会員が起立し「会員憲章」の唱和を行った。



全員起立して会員憲章を唱和

### (3) 物故会員に対し黙祷

柿沼 敦委員（東支部）の進行により、昨年度御逝去された、衛生支部・笠木伯男先生、南支部・林政芳先生、北支部・佐藤順児先生、団体支部・長峯 隆先生、団体支部・山根康義先生、さいたま市支部・藤井芳美先生のご冥福を祈り、全員起立し黙祷を捧げた。



### ご来賓の皆様

前列右から 埼玉県知事代理 埼玉県農林部長 横塚正一様、埼玉県議会環境農林委員長 高橋稔裕様、埼玉県議会福祉保健医療委員長 渡辺 大様、さいたま市副市長 高橋 篤様、日本獣医師会副会長兼専務理事 境 政人様、埼玉県農業共済組合副組合長理事 福田和明様、埼玉県畜産会会長代理 専務理事 丸山盛司様、学校法人シモゾノ学園 理事長 下園恵子 様

## (4) 会長あいさつ



高橋三男埼玉県獣医師会会長挨拶

新緑の美しい本日、第75回公益社団法人埼玉県獣医師会定時総会をここに横塚埼玉県農林部長さんをはじめ、県議会の先生方、そして日本獣医師会からは、この度福岡県議会議員に10期連続当選の藏内勇夫会長は福岡県議会の関係で本日はどうしても出席できないということでビデオメッセージをいただきましたので、後程、懇親会の場で上映させていただきます。本日は、会長代理として境政人副会長兼専務理事がお見えでございます。後程ご挨拶を頂戴するところでございますが、この場に多くの御来賓の皆様方をお招きして開催できますことに感謝申し上げます。

我々獣医師の果たす役割は益々医師会から強く要望されてきたところであります。さらにコロナ問題に対して我々獣医師会も医師会と大きく切磋琢磨をさせていただきました。人と動物の共通感染症において獣医師の果たす役目がこれほど重要視されたことはありません。前例のないコロナという大きな問題が医師会と獣医師会がさらに近づき、国家国民のために、健康と命を守るために大いなる協力体制の確立の第一歩ができたのかなと思うと共に、本日、極めてお忙しい中、日本医師会の松本会長、埼玉県獣医師会の金井会長が共々、全国でも珍しく懇親会にお二人がおそろいになります。我々獣医師会とともに、人類のそして地球の崩壊を招く人と動物の健康と命を守る連携によって、獣医師会として全国でもめずらしい総会、懇

親会を開催することができます。さらに本日の懇親会には我々が尊敬してやまない大野知事にもご出席いただきます。

我々に与えられた使命は学術団体であります。とは言え世はまさにロシアやウクライナにおいてテレビの画面で見る限り、人の命が毎日毎日戦争によって失われていく、一方では私たち、人獣共通感染症を通して少しでも役にたてるように、本日の埼玉県獣医師会の総会がその原動力として大きく第1歩を踏み出すことができるのではないかと考えています。さて私は、小学校2年生のとき、昭和20年8月15日に学校の校庭で1年生から6年生が全員並ばされ、天皇陛下のお言葉を拝聴しました。しかしそのときは小学生でなにもわかりませんでした。前に並んだ先生が眼鏡をはずしながらハンカチで目を覆う、どの先生もハンカチで目を覆う、私たち小学生にはなんだかよくわかりませんでした。当時、学校にはいつも防空頭巾を持って裸足で行きました。私は6人兄弟でした。学校に行くと先生が兄ちゃんかお姉さんがいる人は手をあげなさい。教科書はお兄さんかお姉さんからもらいなさい。兄弟のいる人には新しいのはないんです。「欲しがりません勝つまでは」と教えられたことばの意味はわかりませんでした。そういう小学校時代を過ごして参りました。いつしか私たちは日本が戦争に敗れたということをおじいちゃんおばあちゃんから聞きまして、これからは

平和な学校になるんだよと言われ、それから岩槻小学校という名前になった時代を経て、昭和30年に春日部高校を卒業して進路をどうしようかと考えました。私は小学校4年生のとき犬を300円で親に買ってもらいましたが伝染病のジステンパーになりました。町には復員された獣医の先生が一人おりました。今思えば栄養剤の注射を2〜3本打って約1週間で亡くなりました。そのとき動物も人間も命は大切だなということを強く感じ、そこに私の獣医師としての第一歩が私の心のなかに芽生えたのかなと思っています。戦後、昭和34年に大学を卒業して国家試験に合格しまして、東京の小動物の病院勤務を経て小動物で開業し、昭和38年に埼玉県獣医師会に入会させていただきました。当時の獣医師会は産業動物の先生がほとんどで、私は小動物を担当する役員として、浦和、川口、大宮の先生方にご指導いただきました。獣医師会の役員として現在まで24年間務めさせていただきました。埼玉県獣医師会の初代会長は坂本明先生、2代目が大津隆紹先生、その後、栗田武男先生、五十嵐幸男先生ですが、栗田会長が18年、五十嵐会長が18年、私が24年で合計60年、今75年経過している中で5代目であります。この三人が一人平均して約20年務めているということになります。私は若いときから役員をやりました。先輩から、君は開業しているのか役員やって食っているのか、役員を2期やったら病院が潰れるよと言われました。今でも、獣医師会の役員が回ってくるから獣医師会を退会しますと言った先生がいますという話を聞いたことがあります。今回私は退任をさせていただきますが、今回私が知っている限りで初めて、総会で承認された理事の互選による役員選挙があるそうです。そういう熱意のある方が出てきたということは、時代が求めたお互いに主義主張を尊重する民主主義の原点がここに埼玉県獣医師会に誕生したのかなと、希望を持つわけであります。しかし民主主義は選挙が原点とは申せ、やはり我々高等教育を受けた人間はお互いにその前に主義主張を言って話し合うことの方がもっともっと私は大事な問題ではなからうかと思えます。選挙というものは国会議員、知事、市町村色々あります。我々やはり獣医師会、公益社団法人としては、お互いに意見を出して、お互いに譲るべきものは譲って仲良く、国のため地域のために国家資格をいただいた我々だけにしかできない社会貢献をするというその義務をしっかりと

と皆さんにが進めることが大事なことではないかと思っております。本日はそういうことで第1号から第6号まで審議がございます。私も前例のないコロナという考えもつかない世の中で3年半会長として務めさせていただきました。その間、多くの会員の方々、そして二人の副会長を中心とする理事や監事の皆さん方、そして、なにはさておいても事務局の皆さん方がしっかりと私を支えていただきました。一人では何事もできません。いかなることがあっても人間は朝起きてから夜眠るまで、自分一人ですることは何ひとつありません。箸を持ってご飯を食べますが、その箸さえ自分で作った箸ではありません。世の中は互助、共助、自助、世の中は助け合いなのです。今日まで24年間やってきた至らぬ会長に大変ご不満の方もいらっしゃると思いますが、私は皆さんに支えられて、日本獣医師会所属する全国55の地方獣医師会においてもベスト3に入るような素晴らしい獣医師会に成長したと思っています。日本獣医師会におきましても藏内会長のもとで足掛け10年全国会長会議の常設議長として、執行部の一員として全国の会長の主張や要望を年2回から3回、種々のご意見を議長として受けながら日本獣医師会の舵取りをさせていただきました。この間、埼玉県にも豚熱が発生しました。豚熱は全国で18年間予防注射なしで清浄化を目指していましたが、埼玉の発生2年前に岐阜県で発生したときに岐阜県獣医師会の石黒会長が「行政から獣医師会の皆さん方が飼育者に衛生管理をしっかりとやるようにご指導いただきたいと声高々に言われたがもう衛生管理を口でお願いしただけでは限界です。ぜひ日本獣医師会でワクチンをできるように要望していただきたい。」という要望がありました。私も埼玉で発生しないようにと思っておりましたが、埼玉でも発生してしまいました。9月2日に大野知事が初登庁したばかりの10日後でした。24時間以内に殺処分しなければならない。72時間以内に焼埋却しなければならないということで、就任したばかりでありましたが、見事に防疫措置をして、その後は県内全ての豚にワクチン接種をしてその後の発生を防止しました。多くの皆様方に協力していただき、特に農林部の家畜保健衛生所を中止とする県職員の方々の熱心な努力によって埋却できたということで、本日、後ほど大野知事がお見えになったら、改めて、心を込めて感謝の気持ちを、そしてお礼を言わせていただきたいと思いますと思っております。

ます。最後になりますけれども私は獣医師会でも3人の立派な監事からご助言をいただいております。これからの新しい役員さんに、今直面している問題はこういう問題ですよということを申し述べて終了したいと思います。

まず会員の減少です。昭和23年には81人でしたが、平成19年には930人、間もなく1000人になろうということでそれをピークとして現在750名と大きく減少してきます。しかし、獣医師は毎年国家試験によって千人前後の合格者があり、埼玉県におきましても公務員や動物病院、各種団体などの勤務者そして開業者で入会する方が少なくなっている。これはなにが原因か、時代の流れとともに新しく獣医師になった方には今の獣医師会には魅力がないからではないかという風に自己反省をしておりますけれども、この問題につきましては時間をかけて検討していかなければなりません。

以前から獣医師会は公正取引委員会でいろいろ問題になりました。本日は平成13年、14年に日本弁護士会の会長で埼玉県獣医師会の顧問弁護士である土屋弁護士事務所の高橋弁護士にもお越しいただいておりますが、校正取引委員会におきましては何ひとつ問題なく解決していただきました。また、戦後、産業動物の先生方は業務が忙しいなかでありましたが、昭和39年のオリンピックを契機に産業動物全盛から小動物へと移行してまいりました。その頃の会長は五十嵐先生でありましたが、国税局のマルサが獣医師会に入りました。私は総務委員長を務めていました。修正申告などの問題につきましても、顧問税理士の指導のおかげで事なきを得たこともありました。これに加えて会員の先生方の個人的な問題につきましても顧問弁護士、顧問税理士に対応して解決していただいているところです。また、今では小動物診療のうえで飼い主との信頼関係は紙ひとえです。私は日本獣医師会の理事として12年間活動したなかで、賠償保険制度の確立に尽力しました。通常の賠償保険に加え、電話でさんざん嫌なことを言われ、ネットで誹謗中傷され、診察室に押しかけられて病院経営に支障をきたすような状況を改善できる制度を確率しました。これは日本獣医師会の会員の病院でないと入れない保険です。

時間もありませんので、今後の課題について駆け足であげておきます。狂犬病注射頭数の減少・集合注射参加獣医師の減少、開業会員の高額な入会金の検討、会員の高齢化による会費免除制度の

検討、事務局職員の待遇改善、役員・委員のなりて不足、子育て後の女性獣医師の再就職問題などです。私は会員のために獣医師会会長を24年間務めてまいりました。このような課題はまだたくさんありますけれども、このような課題を皆さんと共有しながら、新しい時代に対応しうる獣医師会として、人と動物が共生できる地球の存亡を賭けた一翼を担うということを忘れずに頑張りたいと思っています。

どうか、本日はこれからの審議につきまして、限られた時間ではありますが、執行部が一生懸命やった結果を皆様方にご批判いただくわけがございます。どうかよろしく願いいたします。長いこと本当にありがとうございました。

#### (5) 議長選出

議事に先立ち、総合司会の大橋邦啓委員長から、本日午後2時30分現在の出席会員数は、本人出席166名、委任状提出者447名、合計651名で、定数を満たしていることから、定款第17条の規定により本総会は成立している旨が報告された。

続いて議長等の選出方法を諮った。出席者からの「司会者一任」の声により、司会者が議長に林繁雄先生(農林支部)、副議長に直井昌之先生(さいたま市支部)を指名し、選任された。

また、総会運営委員として、総会運営規定第2条により各支部から推薦されている次の委員が紹介された。

さいたま市支部	白杵	新先生
南支部	窪田	朋宏先生
西支部	上原	大地先生
北支部	清水	章先生
東支部	藤井	将伸先生
衛生支部	佐近	早苗先生
農林支部	清水	博之先生
団体支部	井出	誠彌先生

議長及び副議長が登壇し、就任の挨拶と議事進行に対する協力を求め着席した。

#### (6) 議事録署名人の選出および書記の指名

議長は議事録署名人に加藤知子先生(衛生支部)、伊藤麗子先生(農林支部)、また、書記に内田裕人先生(衛生支部)、秋山毅一郎先生(衛生支部)を指名した。



円滑な議事運営に御協力頂いた  
左から 議長のエ繁雄先生  
副議長の直井昌之先生

## (7) 議事

報告事項 令和5年度事業計画および収支予算に関する件

本件について議長の求めに応じ、事務局 鴻巣泰専務理事が令和5年度事業計画および収支予算の概要を報告した。

議長は、事業計画および収支予算は理事会の決議事項であり、総会に報告することとされている旨を説明した上で、確認したい事項について発言を求めたところ、発言はなく、以上をもって本件報告は了承された。

### 決議事項

第1号議案 令和4年度事業報告の承認に関する件

議長は第1号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が第1号議案の令和4年度事業内容を報告した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第1号議案令和4年度事業報告の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。

第2号議案 令和4年度決算の承認に関する件

議長は第2号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が第2号議案の令和4年度決算について「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「同内訳表」、「財務諸表に対する注記」、「附属明細書」、および「財産目録」により説明した。

次に、議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して八木賢裕監事(東支部)から令和4年度事業報告並びに計算書類およびその附属明細書、財産目録について令和5年5月9日に監査したところ

適正であった旨が報告された。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第2号議案令和4年度決算の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。



八木賢裕監事による監査報告

第3号議案 令和5年度会費(負担金)および入会金(案)に関する件

議長は第3号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が会費および入会金は、ともに令和4年度と同額としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第3号議案令和5年度会費(負担金)および入会金の承認について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された旨を宣し(案)の削除を求めた。

第4号議案 令和5年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定に関する件

議長は第4号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事がそれぞれ令和4年度と同額としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第4号議案令和5年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

第5号議案 令和5年度役員報酬に関する件

議長は第5号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が理事および監事の報酬の総額を620万円以内としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、令和5年度役員報酬の決定について議場に諮った

ところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

ここで議長は、第6号議案が自身がかかわる案件であることから、議長の任を解いて降壇し、以降の議案は副議長が進行した。

#### 第6号議案 役員を選任に関する件

議長は第6号議案を上程し、求めに応じ事務局鴻巣泰専務理事が現在の理事および監事は本日の総会終了をもって任期満了となるので、次期役員について選任をお願いする旨を説明した。

議長は、各時期役員候補者それぞれについて賛否を諮ったところ、各役員候補者に対する異議はなく、次のとおり選任した。また、選任された役員全員は、即時、理事および監事の就任を承諾した。

(選任された役員名簿)

役員名	氏名	所属	備考
理事	高橋 一成	さいたま市支部	重任
理事	大澤 健	さいたま市支部	就任
理事	宗像俊太郎	南支部	重任
理事	藤井 忠之	南支部	就任
理事	小暮 一雄	西支部	重任
理事	堅木 道夫	西支部	重任
理事	大橋 邦啓	北支部	重任
理事	山口 達也	北支部	就任
理事	中村 滋	東支部	重任
理事	青山 利雄	東支部	重任
理事	前野 直弘	衛生支部	重任
理事	田中 美貴	農林支部	重任
理事	林 繁雄	農林支部	重任
理事	鴻巣 泰	農林支部	重任
理事	瀬川 潤	団体支部	就任
監事	長澤 泰保	南支部	就任
監事	三森 信行	西支部	就任
監事	八木 賢裕	東支部	重任

続いて、付帯決議について、議長の求めに応じ、事務局 鴻巣泰専務理事が説明した。議長が付帯決議を付すことについて諮ったところ異議はなく、拍手多数により承認された。

ここで副議長は、全議案の審議の終了を宣し、

円滑な議事運営に関して謝辞を述べ降壇した。

司会者は定款第12条に基づく総会の終了を宣言し、新役員は別室に移動して臨時理事会を開催した。

#### 新たな執行体制

臨時理事会終了後、新たな代表理事(会長)に選定された中村 滋新会長が挨拶をし、その後、副会長、専務理事並びに部会長、委員長が次のとおり選定された旨、報告があり、それぞれが紹介された。

#### 中村滋新会長あいさつ

新会長という大変重い荷を背負わせていただきました中村でございます。別室で開催した理事会の結果、新会長となりましたが、高橋三男前会長が24年間という大変長い間、我々獣医師がオギャーと産まれて国家資格を取るまでの間、会長をお勤めいただいたわけですが、私としましては大変身が引き締まる思いで現在も身体がガタガタと震えています。

私は市内のほとんどが田圃で昔は農耕馬の飼育が盛んであった加須市で江戸時代から5代獣医を営んでいた家に生まれ育ちました。以前は馬の診療が中心でしたが、農耕馬が耕運機にとって代わり父親は豚の診療をしていました。豚の診療は家に戻ってから父親に教えてもらえば何とかなるだろうということで、免許取得後は世田谷の病院で小動物診療の勉強を泊まり込みで半年間、無償でしました。家に戻ってからは埼玉県獣医師会に入ることになりますが、当時は親子で入会することはハードルが高く、大先輩の方々には大変お世話になり、何とか入会させていただきましたが、狂犬病の集合注射は当時は春、秋の2回ありましたが2年間は無償でお手伝いさせていただき、昭和50年に無事会員になれました。その後は東支部で様々な役員をさせていただき、副会長を15年間仰せつかっておりました。会長としてどこまで頑張れるか分かりませんが、昨今の獣医師に関する動きは非常に素早くマスコミには小動物やペットの報道が毎日のように流れております。しかし、企業の病院が個人の病院を買うようになって大変厳しい時代がすでに来ています。また県職の皆様にはこの数年間、保健医療部ではコロナ、農林部では豚熱や鳥インフルエンザ、環境部ではアライグマの被害など大変な思いをされています。私は

今までの流れにとらわれず、私のやり方で会員の皆さん、また役員の皆様方とともに協力しあって埼玉県獣医師会が会員を増やし、少しでもいい方向に、明るい方向に向かえるよう頑張っています。最後に私の組織としてのモットーを一言、月並みですが伝えさせていただきます。この会は会員の皆様方の、会員の皆様方による、皆様のための埼玉県獣医師会でなければならないというふうに考えておりますので、どうぞこれからはばらくの間頑張りますので皆様方のご協力、深いご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(1) 代表理事(会長)、副会長、専務理事

代表理事(会長) 中村 滋  
副会長 大橋 邦啓  
副会長 宗像俊太郎  
専務理事 鴻巣 泰

(2) 部会長、委員長

開業部会長 大橋 邦啓 副会長  
勤務部会長 田中 美貴 理事  
開業部会第1運営委員会委員長  
大橋 邦啓 副会長  
開業部会第2運営委員会委員長  
小暮 一雄 副会長  
勤務部会運営委員会委員長  
田中 美貴 理事  
総務委員会委員長 高橋 一成 理事  
獣医事調査委員会委員長 大澤 健 理事  
学術委員会委員長 宗像俊太郎 副会長  
狂犬病予防委員会委員長 青山 利雄 理事  
厚生委員会委員長 堅木 道夫 理事  
情報検討委員会委員長 藤井 忠之 理事

(8) 祝寿表彰および記念品贈呈・功労会員証の贈呈

山本祥子委員(南支部)から米寿4名、喜寿3名、古希17名、功労会員17名が紹介され全ての受賞者を代表して三森信行先生(西支部)に中村会長から祝寿表彰状及功労会員証、記念品が贈呈された。

また、全ての受賞者が起立する中で、代表して三森信行先生(西支部)が謝辞を述べられた。

(祝寿表彰者)

米寿 南支部 石黒 富雄先生  
西支部 時田 敏夫先生

	団体支部	稲畑 明先生 大山 通夫先生
喜寿	南支部	長澤 泰保先生
	衛生支部	水沢 馨先生
	団体支部	岡部 隆一先生
古希	南支部	中村 誠一先生
	西支部	三森 信行先生 (代表受賞者)
	東支部	横山 学先生 竹田 誠先生
	衛生支部	武井 宏一先生 服部 静司先生 長谷川 隆先生 広瀬 正和先生 斉藤 利和先生 橋本 勝弘先生
	農林支部	鈴木 智先生 鴻巣 泰先生 廣田あづさ先生 金子 保之先生 北野 俊明先生 梅沢 正親先生
	団体支部	瀬子 明代先生
(功労会員)	南支部	中村 誠一先生
	西支部	三森 信行先生
	東支部	横山 学先生 竹田 誠先生
	衛生支部	後藤 敦先生 武井 宏一先生 服部 静司先生 長谷川 隆先生 斉藤 利和先生 橋本 勝弘先生
	農林支部	鈴木 智先生 鴻巣 泰先生 廣田あづさ先生 金子 保之先生 北野 俊明先生 梅沢 正親先生
	団体支部	瀬子 明代先生



中村滋会長（左）から受賞者代表の三森信行先生（右）に表彰状と記念品が贈呈された。

#### (9) 退任役員への感謝状贈呈

続いて、本日をもって退任した高橋三男会長(さいたま市支部)、山中利之監事(さいたま市支部)、田中裕監事(南支部)が紹介され、中村会長から感謝状及び花束が贈呈された。



中村滋新会長（左）から退任された高橋三男会長（右）に感謝状が贈呈された。

#### (10) 第77回愛鳥週間野生生物保護功労者表彰

##### 表彰者の紹介

続いて磯部哲治委員(北支部)から、本年の愛鳥週間野生生物保護功労者表彰について、「日本鳥類保護連盟会長賞」が北支部の大橋邦啓先生に対して贈られ、埼玉県環境部みどり自然課長 星友治様から褒状が伝達された。



星友治みどり自然課長（左）から褒状を伝達される大橋邦啓先生（北支部）

#### (11) 来賓祝辞

大橋邦啓委員長の進行により、次の方々から御祝辞を頂いた。

埼玉県知事	大野 元裕様
(代理 農林部長 横塚 正一様)	
埼玉県議会環境農林委員長	高橋 稔裕様
埼玉県議会福祉保健医療委員長	渡辺 大様
さいたま市副市長	高橋 篤様
埼玉新聞社代表取締役社長	関根 正昌様

#### (12) 来賓紹介

大橋邦啓委員長が御来賓及び賛助会員を紹介した。

来賓	
埼玉県農林部長	横塚 正一様
埼玉県議会環境農林委員長	高橋 稔裕様
埼玉県議会福祉保健医療委員長	渡辺 大様
さいたま市副市長	高橋 篤様
日本獣医師会副会長兼専務理事	境 政人様
埼玉県農業共済組合副組合長理事	福田 和明様
埼玉県畜産会会長代理 専務理事	丸山 盛司様
さいたま商工会議所理事兼事務局長	黒金 英明様
学校法人シモゾノ学園理事長	下藪 恵子様
埼玉県農林部農業政策課長	中村 真也様
埼玉県農林部畜産安全課長	渡辺 志保様
埼玉県保健医療部参事兼生活衛生課長	橋谷田 元様
埼玉県環境部みどり自然課長	星 友治様
埼玉りそな銀行岩槻支店支店長	福岡 大介様

武蔵野銀行地域サポート部長 関谷 宏之様  
 (株)埼玉新聞社代表取締役社長 関根 正昌様  
 (株)テレビ埼玉クリエイティブ常務取締役

松本 嘉雄様  
 (株)ヘリテージリゾート代表取締役社長  
 杉田 憲康様  
 顧問弁護士 土屋綜合法律事務所

高橋 謙治様  
 日本獣医師会事務局長 駒田 逸哉様  
 埼玉県中央家畜保健衛生所所長 田中 美貴様  
 埼玉県川越家畜保健衛生所所長 佐竹 吉人様  
 埼玉県熊谷家畜保健衛生所所長 窪田 美佳様  
 埼玉県秩父高原牧場場長 加藤 幸彦様  
 埼玉県動物指導センター所長 前野 直弘様  
 さいたま市動物愛護ふれあいセンター所長

小林 昌彦様  
 賛助会員  
 アクティ(株)さいたま営業所長 山崎 克明様  
 アクティ(株)さいたま第二営業所長  
 清水 政宏様

(株)アスコ東日本支店長 小楠 文昭様  
 (株)アスコ大宮営業所長 廣田 雅也様  
 森久保CAメディカル(株)第一営業部長

望月 辰起様  
 森久保CAメディカル(株)埼玉営業所長  
 白井 孝輔様  
 日本全薬工業(株)埼玉営業所長

水戸 幸一様  
 日本全薬工業(株)埼玉営業所チーフ

山口 真吾様  
 (株)武蔵野ペット霊園会長

山川 勝弘様  
 (株)アサヒコミュニケーションズ顧問  
 新井 正敏様

#### (14) 閉会の言葉

宗像俊太郎副会長が総会運営に対するお礼を述べ、午後4時00分、閉会を宣言した。

広告

## 人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

ASCO ONE to ONE dog food  
**CALL ONE™** 総合栄養食

Your dog's food based on the INTESTINAL FLORA INSPECTION.  
 A good intestinal environment keeps good health.

### 腸内フローラケア

腸内フローラ検査から  
 おなかの弱点をピンポイントに補う  
 世界に1つだけの  
 “うちの子”専用  
 健康サポートフード

かわいい“うちの子”の写真入り  
 パッケージでお届け!!!



詳しくはアスコセールスまで!!!

#### 本社

〒441-8021

愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

#### 東京本社

〒103-0027

東京都中央区日本橋1丁目16番地3号 日本橋木村ビル7階

TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

#### 営業所

・北海道支店

札幌

・東日本支店

前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京

大宮、宮城、福島

・中日本支店

豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

・西日本支店

広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

## (公社)埼玉県獣医師会 総会懇親会

懇親会は、第75回定時総会に引き続き、午後5時から大野元裕埼玉県知事をはじめ多くの御来賓をお迎えして盛大に開催され、大橋邦啓副会長と林繁雄理事の司会により進行されました。



中村滋会長の開会挨拶

### (1) 会長挨拶

みなさんこんにちは。先程の第75回埼玉県獣医師会総会に置きまして第6代目の会長とになりました。中村滋と申します。加須市で開業しております5代目の獣医師でございます。どうぞよろしくお願いいたします。24年間という、オギャーと産まれた子供が6年制の獣医大学を卒業するまでの間になりますが、その間、埼玉県獣医師会を引っ張ってこられました高橋三男前会長のもとで私がこの役を引き継ぐというのは大変な気持ちと想いで、今でも足が震えております。とにかく素晴らしい会長の後を私が引き継ぐというのはプレッシャーまたプレッシャーでございますが、できる限り頑張ってお参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、現実にはどのような組織でも見られております組織率の低下、会員数の減少は埼玉県獣医師会におきましても同じでございます。そして獣医師の国家試験の合格率の低下、3年前までは千人近くの合格者がおりましたが、一昨年は9百人、今年は、800人台の合格者しかいないという現実、そして来年からは加計学園が160人卒業して参ります。何人国家試験を受けるかわかりませんが、その中で学生さんたちはこれから死闘を繰り広げるようになるのではないかと。この業界も大変です。そして日本獣医師会が抱えるマイクロチップの大問題、小動物病院も経営が二極化していて、そこを買収しようとする企業がでてきています。

小動物も安閑としていられる時代ではございません。また産業動物の分野では感染症の対策に大変苦慮しております。先程の総会の席でも多くの来賓の方たちが感染症につきましてお話をいただきました。まだ到着されておられません、大野知事さんが知事になって初めての仕事は豚熱でした、その後、鳥インフルエンザと続いていたわけですが、これらにつきましては我々獣医師と密接な拘わりがあるため、私たちだけではなく、こちらにお越しになっていらっしゃる多くの政治家の皆様方、また関係者の皆様方には是非我々と共に一緒に努力していただき、また応援していただかなければならないと考えております。

そしてもう一つ、ワンヘルスという、医師と我々獣医師とのかかわりあい。日本では獣医師は農水省が管轄していますが、アメリカやヨーロッパでは厚生労働省のような場所で医師と同じレベルでの管轄ですので日本とは違うのではないかと考えていますが、現実動物から人に感染してしまう。私も診療している間に感染してしまい、自分でケアしなければ家族にもうつしてしまう可能性があると感じます。そう考えると獣医師と医師はそれほど離れているものではない、人と動物は現実地球上に一緒に存在している哺乳動物として一緒にやっつけていかなければいけないことではないのかと感じています。30年前にオーエスキー病、仮性狂犬病といいましたが、私は犬で3頭見たことがあります、痒がって、痒がっていずれは死んでしまう。狂犬病かなと思うと狂犬病ではなく死亡してしまいました。そういうことを考えると獣医師と医師の世界は非常に近い存在であると感じています。本日、高橋前会長の隣に埼玉県医師会の金井会長にお越しいただいておりますが、ほんとうにありがたい話しであり、すごい近い存在であることを感じながら我々は頑張っていかなければならないと思っています。鳥インフルエンザが発生してから卵がワンパック300円ととてつもない値段になり、安値の代名詞であったものがそんな時代になってしまいました。みんなで協力しあいながら頑張っていかなければならないと感じています。そして私が40年以上通っていた養豚場から8月で豚がいなくなります。50頭前後の親豚を飼っていた養豚場ですが、豚肉の値段は同じで餌が高くなるととても続けられない。金になるところではなく、肉豚のお尻に千円札を何枚が張り付けて出荷するようであれば、今なら借金がないのでやめたほうがよいとのことでした。ロシアがウクライナに侵攻した結果だろうと思いますが、我々は獣医師として、地域の畜産のために、動物のために頑張ってきたのに非常に寂しい状態です。そういったなかで是非皆様方と協力しあいながら、狂犬病やSFTSなどの人に感染する病気について、一つ一つ、獣医師と医師、保健所、家畜保健所と連携をとりながら対応できるような会として、会員の皆様とともに育てていかなければならないと感じています。

私のモットーは、埼玉県獣医師会は会員の皆様による会員の皆様のための埼玉県獣医師会でなければならぬと考えております。是非、会員の皆様と共にある埼玉県獣医師会であるように、高橋前会長から引き継いで更により会にするよう努力して参りますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。本日は数多くの来賓の皆様方にお越しいただきまして心より御礼申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

## (2) 新入会員歓迎セレモニー

大野元裕知事の到着とともに、恒例の新入会員歓迎セレモニーが行われました。新入会員18名のうち、出席した13名が、一人一人紹介され、中村新会長から花束を手渡されて壇上に上がりました。新入会員を代表して、埼玉県川越家畜保健衛生所に勤務する高橋友希先生（農林支部）が「本日は高橋前会長、中村新会長をはじめ、会員の皆様が私共新入会員のために、このように盛大な歓迎のセレモニーを開催してくださいましたことに、心より感謝申し上げます。

私共公務員の使命は、家畜衛生の推進、食の安全・安心の確保、公衆衛生の向上、野生鳥獣保護、動物愛護など、益々多様化していますが、大野知事のもとで、ワンチームとなり、日々、責務を果たしている先輩方に一日でも早く追いつくことができるよう、強い使命感を持って努力して参ります。また、開業の先生方は家族の一員であるペットの診療を通じ、人々の豊かな生活に寄与されています。立場は違えども、この度の入会を機会に、新入会員同士、切磋琢磨



新入会員代表謝辞  
高橋友希先生（農林支部）

し、それぞれの分野の先輩方に、ご指導いただき、公益社団法人埼玉県獣医師会の一員として、誇りを持って活動をして参ります。今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。」と謝辞を述べました。

その後、入会を祝して中村新会長、高橋名誉会長、大野元裕埼玉県知事、立石泰広埼玉県議会議長、江原大輔さいたま市議会議長、松本吉郎日本医師会会長、金井忠男埼玉県医師会会長とともに「記念撮影」と「くす玉割り」を行いました。くす玉の2本の紐が引かれると、中からは「入会おめでとう」の文字が現れ、会場から大きな拍手が送られました。



入会を祝して行われたくす玉割り

後列左から 中村滋会長、高橋三男名誉会長・埼玉県獣医師連盟理事長、江原大輔さいたま市議会議長、立石泰広埼玉県議会議長、金井忠男埼玉県医師会会長、松本吉郎日本医師会会長、大野元裕埼玉県知事、中泉直樹先生（さいたま市支部）、三澤輔先生（東支部）、森本雅彬先生（団体支部）、梅山直樹先生（団体支部）、坂口大貴先生（団体支部）  
前列左から 皆本里実先生（北支部）、高橋友希先生（農林支部）、木下耕一先生（農林支部）、遠藤みちる先生（農林支部）、北山美優先生（農林支部）、飯酒盃真貴子先生（衛生支部）、西村倫花先生（団体支部）、大山直樹先生（団体支部）

ここで、高橋三男名誉会長が新入会員と大野元裕知事に向けてメッセージを送りました。

「みなさん入会おめでとうございます。期待のニューリーダーが揃いました。先輩の皆様方、折に触れ厳しく、時には優しくご指導いただきたいと思います。私もこういう方々に入会していただくということは本当に心強く思っています。24年間皆様方にお世話になりまして、ここで気持ちよく中村会長にバトンを渡すことができました。ほんとうにありがとうございます。先程、新会員の代表として高橋さんが立派な挨拶をしましたが、県の職員としてしっかりと知事を支えていただきたい。大野知事さんとは今から4年前、

来年はこの紐を引いてもらうと約束しましたが、新型コロナのため叶いませんでした。すでに4年が経過し、8月には選挙が行われます。2回目の大きなハードルを超えなければなりません。獣医師連盟の理事長として、この素晴らしい知事さんを応援していきます。」



大野元裕知事にエールを送る高橋三男名誉会長・埼玉県獣医師連盟理事長

### (3) 来賓の祝辞

御出席を頂いた御来賓から御祝辞を頂きました。

#### 埼玉県知事 大野元裕様の御祝辞



埼玉県知事 大野元裕様

改めまして、只今、高橋三男名誉会長から栄誉なことにご紹介いただきました埼玉県知事の大野元裕でございます。今日はまずもって4年振りの開催となりました埼玉県獣医師会の総会並びに懇親会のご開催まことにおめでとうございます。そして、新入会員の皆さんまことにおめでとうございます。そして今日は土屋品子衆議院議員をはじめ

めとする国会議員の先生方、さらには立石泰広議長をはじめとする各級県内議員の皆様のご参加を得て本当にこのように素晴らしい会となりましたこと、重ねてお祝申し上げたいと思います。

高橋三男さん本当にお疲れ様でした。長い間県がそして獣医師を志す卵からさらには大きな大きな夢を持てるようになるまで本当にお疲れ様でした。改めて感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。また、中村滋新会長におかれましては、引き続き県政に対するご支援よろしくお願い申し上げます。獣医師会の先生方におかれましては、狂犬病をはじめとする感染症、安全・安心な畜産物の提供、さらには動物愛護に至るまで、ほんとうに多岐にわたり大変お世話になっております。実は私も就任してすぐに豚熱がおこりまして、その後、去年、今シーズン4回も高病原性鳥インフルエンザが発生するなど、本当に先生方にはお世話になりました。そして、しかしながら未だにアフリカ豚熱などもまだまだ危機にさらされている状況であります。引き続きのお力添えをお願いしたいと思っています。

そして、今、くす玉開扉させていただきましたが、実は先程高橋会長がおっしゃったとおり、私が4年前に清水園に来させていただいて、来年は知事としてこのくす玉開扉をやらせていただきま

すと言ったお約束が果たせないまま4年が経ちました。そして4年振りにここに来させていただいてくす玉の紐を持って高橋会長がマイク持って、ああそうだったとつくづくと思いだされました。でも、今日はですね高橋会長最後の恐らく会長としてのマイクを握っての話してございますので、皆さんは温かく見守っていただけたんじゃないかと思えますし、例年より半分くらいの時間でしたですよね。今年は短かかったなと思っているところではありますけれども、中村会長になるともう少し平和になるんじゃないかというふうに期待をしているところでございます。

いずれにいたしましても、このコロナ禍で皆さんとなかなか会えないなかではありましたが、このように素晴らしい皆さんがお集まりをいただいて、獣医師会は県民の生活の様々なところで関係がある、そこでお世話になっている会であります。是非、引き続き、高橋会長におかれましては、ほどほどに獣医師会を盛り立てていただきますとともに、中村会長新執行部のもと、獣医師会そしてそれぞれの先生方の持続可能な発展、まさにポストコロナの発展に向けてのご活躍を私からもご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本日はまことにおめでとうございませう。そして高橋会長ほんとうにありがとうございました。

#### 埼玉県議会議長 立石泰広様の御祝辞



埼玉県議会議長 立石泰広様

皆さん今晚は、只今ご紹介いただきました、埼玉県議会議長立石泰広でございます。

本日は埼玉県獣医師会の総会が無事に終了し、こうして盛大に懇親会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。まずは高橋前会長、長い

間この会を牽引され、ほんとうにお疲れ様でございました。また、中村滋新会長におかれましては、高橋会長の意思を継いでこの獣医師会を素晴らしい会に発展していくようにご尽力賜りますようお願いを申し上げます。

これまで獣医師会の先生方におかれましては、さまざまな家畜や動物に関するいろいろな事案に対処していただきました。埼玉県でも豚熱や様々な事件がありましたけれども、先生方のご協力をいただき、お陰様で無事に済んでいる状態です。動物はペットとして人間に親しまれてはおりますけれども時には重要な病原体を持ち、人に大きな影響を与えるものでもあります。そういった意味で先生方の役割は非常に大きくて、私たちが安全に生活をするなかで先生方の力がなくてはならないということになっているわけでありませう。これからも埼玉県議会といたしましても、議案審議を通じて先生方の応援ができればありがたいと思っているところであります。

新たにこの4月の選挙で93名の議員が選ばれたところでありませう。議会のなかには動物を愛する議員連盟もあり、皆様との協力関係をこれからもしっかりと築いていきながら、しっかりと県政で施策を進めてまいりたいと思っているところであります。どうぞ県議会にも皆様方のご協力をよろしくようお願い申し上げます。結びに獣医師会の発展とご参会の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、お祝のご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございませう。

#### 日本獣医師会会長 藏内勇夫様の御祝辞 (ビデオメッセージ)



日本獣医師会会長 藏内勇夫様

日本獣医師会の会長を務めております藏内勇夫でございます。本日の埼玉県獣医師会の総会には高橋会長に出席をすとお約束を致しておりましたが、急務が生じましてビデオメッセージでの挨拶になりました。大変申し訳なく思っております。本日、公益社団法人埼玉県獣医師会第75回定時総会が多数の会員獣医師の皆様のご出席のもと、開催されることに対し、心からお祝い申し上げ、日本獣医師会を代表してご挨拶を申し上げます。長年の獣医会のご貢献により、本日晴れて表彰の栄に浴された皆様、誠におめでとうございます。この機会を節目として今後も獣医師、獣医師会のためにご指導、ご尽力を賜りますよう何卒よろしくお願いをいたします。

さて、我々は国内で新型コロナウイルス感染者が確認されて以降3年が経過するなかで、8回の感染拡大の波を経験しました。政府は5月8日をもって本病を感染症法において季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行し、すでにマスク着用は個人の判断に委ねられております。しかしながらご出席の皆様におかれましては、引き続き獣医師という専門職の立場から感染リスクを常に考慮し、状況に応じた感染症対策の実施とワンヘルスの実践につきまして、ご指導いただけますようお願いを申し上げます。昨年11月に私はアジア獣医師会連合、FAVAの会長に就任し、福岡県においてアジアにおけるワンヘルスアプローチをテーマに第21回アジア獣医会連合大会を19か国から約2,500名の参加を経て対面開催いたしました。本大会の成果として採択されたアジアワンヘルス福岡宣言2022を世界に向けて発信するとともに、福岡市内に設置されるFAVAワンヘルス福岡オフィスを新たな拠点として、ワンヘルス実践活動を日本からアジアへ、そして世界に向けて推進していくことにいたしております。一方、3月13日には自由民主党ワンヘルス推進議員連盟設立総会を開催していただきました。総会では出席の議員の先生方からワンヘルスの推進に賛同いただく前向きなご意見を多数いただき、今後における議員連盟の力強い指導に大いなる期待を抱いているところであります。このような状況のなかで、日本獣医師会は地方会のご理解とご協力を得ながら、諸課題の解決に向けて活動しているところです。現在の最重要課題である販売用犬猫へのマイクロチップの装着と登録に係わる対応につきましては、昨年7月環境省、厚生労働省と9回にわたる

円卓会議を開催し、解決に向け協議をして参りました。しかしながら、飼主はもとより地方獣医師会会員構成獣医師の皆様にとっても有用かつ利便性の高い制度とするためには現行の環境大臣の登録からアイボなど民間の指定登録機関の登録に変更する抜本的な改善が必要であり、動物愛護管理法の早期改正に向け関係議員連盟の国会議員に要請を行なっているところです。また、愛玩動物看護師につきましては、3月17日に第1回国家試験の合格発表がなされましたが、20,798人の受験者で、88.9%という高い合格率となりました。その一方で3月14日に合格発表がなされた獣医師国家試験は受験者1,254人に対し、合格者は877人で合格率は69.9%という過去5年と比較して最も低く残念な結果となりました。いずれにしても、今後は獣医師と愛玩動物看護師が適切な役割分担と連携のもとで人と動物の共生社会の構築と国民生活の向上に貢献できるよう、チーム獣医療の推進に取り組みたいと思います。

ところで、高橋会長は本総会をもって、埼玉県獣医師会の会長をご勇退されると伺っております。会長は平成11年から24年もの間、埼玉県獣医師会の会長として力強い統率力をもって会員の皆様に牽引され、獣医師会業務の発展に貢献されるとともに、日本獣医師会においても小動物部会副委員長、組織財政委員会副委員長、関東地区理事を歴任され、そして、現在、全国獣医師会会長会議常設議長に就任いただくなど、本会の重要な事業活動に多大なるご尽力、ご指導をいただいております。改めて心よりお礼を申し上げる次第です。加えて、さいたま商工会議所副会頭の要職も歴任され、国税庁長官から表彰をされるという異例な経歴の持ち主であり、敬意を表する次第であります。

その一方、高橋会長は、常に周りの人を思いやる、きめ細かなお心遣いをされるお人柄で、地元埼玉県獣医師会会員からの厚い信頼、絆を得られており、私は勇猛なリーダーシップに加え、このような温かい心の持ち主であるからこそ、全国の名だたる獣医師会会長をまとめ上げることができると確信し、高橋会長に全国獣医師会会長会議常設議長にご就任をお願いし、見事にその大役を果たしていただいております。この場をお借りし、高橋会長には心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

また、高橋会長は埼玉県獣医師会会長とともに、埼玉県獣医師連盟の理事長につきましても長きに

わたりお務めいただいておりますが、こちらは続けていただけるという予定であり、今回、関東地区の各獣医師連盟を代表して日本獣医師連盟の役員に推薦されたと伺っております。大変心強く思うとともに、引き続きその実力を発揮していただくように心から期待を申し上げる次第であります。本日の総会は貴会の今後の活動に向け、重要な議案が審議されると伺っています。本総会が意義あるものとなり、今後の貴会の一層活発な活動につながる一方、貴会及び会員獣医師の皆様方が益々ご発展されることを祈念する次第です。さらに、本日、埼玉県獣医師会会長としての最後の任にあられる高橋会長に対し、これまでご尽力いただきましたお礼とあわせ、心身ともに益々ご壮健で、今後とも我が国獣医師界の発展のため、ご指導、ご鞭撻を賜ることができますようお願いを申し上げ、私の感謝とお礼の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

### 日本医師会会長 松本吉郎様の御祝辞



日本医師会会長 松本吉郎様

ご紹介いただきました日本医師会会長の松本吉郎でございます。

今日は埼玉県獣医師会総会そして懇親会にお招きいただきましてまことにありがとうございます。私の地元は埼玉県そしてさいたま市でございますので、本当に地元のためにということで、大野知事さんも一緒になって支援しておりますし、今日は私の存じ上げている方もたくさん出席されておられます。多くの議員さんのなかでも土屋先生にはほんとうにいつもお世話になっております。

獣医師会と日本医師会は非常に密接な関係がご

ざいまして、2011年には世界獣医師会と世界医師会との間で動物由来の感染症、食の安全に関しまして覚書が締結されておりますし、その次の年にはやはり、日本医師会と日本獣医師会のなかで学術的な協力をするというので、これも協定書が結ばれました。また、最近でも、人獣共通感染症に対する取り組みや、AMRに対する取り組みをしっかりとやっていこうということで、福岡宣言がなされて、また去年はアジア獣医師会連合会が開かれており、そこでも新たな福岡宣言がなされております。

ご存じのとおり人類は感染症との闘いでありま。これまでもポストコレラ、インフルエンザのもととなるような、強い風邪症状を持ったウイルスが非常に多く出て、スペイン風邪とかもそうですけれども、本当に百年毎くらいにはそういった大きな波が押し寄せて、今度のコロナも同じような形で、非常に牙を剥いて私共に襲い掛かってきました。色々な医療関係者の連携によってなんとか少しづつ対応ができているところですけれども、まだまだ予断を許さない、沖縄などではまた少し増え始めたという情報もありますが、ただ、まだ、それほどこの都道府県もベッドが満床になって逼迫しているふうにはなっていませんが、まだまだ予断はできないかなと思います。I類、II類感染症の相当数がエボラ出血熱にしても、MARS,SARSにしても、人獣共通感染所が非常に多く入っております。今後も私共恐らくこういった感染症との闘いは恐らくずっと続いていくだろうと思います。ぜひ、医師会、それから獣医師会の皆様、今後とも共通の敵に向かってしっかりと協力して取り組んでいかなければならないと思っています。

高橋前会長、これまでも本当にお世話になっておりますし、また今後は中村会長、ぜひ、私共医師会でもしっかりと協力をしてやっていきたいと思。本日はお招きに預かりましてありがとうございます。本当におめでとうでございます。

## 埼玉県獣医師連盟顧問 参議院議員 古川俊治様の御祝辞



左 自由民主党埼玉県支部連合会副会長  
自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長代理  
埼玉県獣医師連盟顧問  
慶應義塾大学法科大学院教授（医事法）  
慶應義塾大学医学部教授（外科学）  
参議員議員 古川俊治様  
右 高橋三男名誉会長・埼玉県獣医師連盟理事長

獣医師会の皆様こんにちは。いつも大変お世話になっております、自民党参議院議員の古川俊治でございます。ようやくCovid-19も一段落をしたということでありまして、こうして皆様と対面でお会いできることが本当に嬉しく思っております。今、国のほうでは財政、経済の運営と改革の基本方針という国の行政の根本となる方針をたてておりますけれども、子育ても応援しなければいけない、防衛もしっかりしなければいけない、高齢化も続いているということで、大変な議論になっております。そのなかで人と動物の共通感染症というのは、Covid-19を大きな契機としまして、注目をされることになりました。今後こうした感染症をしっかり監視をしていくこと、そして今動物の間でたくさんコロナウイルスがまん延しております。それがまた人に感染したときに早く対応できるような体制を取るべく感染症の法律も改正しましたし、今後しっかりと研究開発も進めていかなければならないと認識しております。獣医師の先生方、医療界とともにしっかりと勉強していくことが国民の健康そしてパンデミックのなるべく最小限の被害に収まるわけでありまして、先生方とともに埼玉県でもこの体制を作り上げていきたいと思っております。引き続きのご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。

## (3) 乾杯

乾杯の御発声は、埼玉県医師会の金井忠男会長をお願いいたしました。以下のご挨拶を戴き、大きく乾杯いたしました。



埼玉県医師会会長 金井忠男様

今晚は、埼玉県医師会長の金井でございます。高橋会長、長くお勤めになられてということでございますが、時々でございますけれども、藏内会長とお会いをする機会がございます。必ず藏内会長は高橋会長のお話しをされます。先程藏内会長のビデオのなかでもそれを十分感じ取ったという感じがいたします。そして人獣共通の感染症についての話し、松本会長からもありました。大野知事からもありましたけれども、これについては高橋会長と一緒に連携をしながら対応していきましょうとお話しをさせていただいているところです。中村会長、獣医師会と一緒にこれからも進めていきたいと思っている次第です。本日第75回の埼玉公益社団法人埼玉県獣医師会の総会が滞りなく終了したことを心からお祝いを申し上げ、また、今日、びっくりしたんですけれども、松本会長がおられますけれども、医師会もこれくらい元気があるといいんですけれども、医師会がちょっと元気がないくらい獣医師会は元気です。ほんとうにこれは我々も見習って頑張っていきたいというふうに思っています。これから益々獣医師会に頑張ってくださいとの意味合いを込めて乾杯をさせていただきます。ご唱和の程、よろしく願います。公益社団法人埼玉県獣医師会の益々の発展、そして高橋名誉会長のご健勝にてのご活躍、中村会長のご活躍、そしてご参会の皆様方のご健勝にてのご活躍を心から祈念を申し上げます。

(4) 来賓の祝辞並びに紹介

国会議員の皆様への紹介

御出席の国会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を頂きました。(写真は御挨拶順)



衆議院議員 土屋品子様



衆議院議員 森田俊和様



衆議院議員 奥水恵一様



参議院議員 熊谷裕人様

御祝辞を頂く前に退席された先生



参議院議員 上田清司様

御出席された国会議員の先生方（選挙区順）

衆議院議員	村井 英樹	様(埼玉第1区)	衆議院議員	牧原 秀樹	様(比例区)
衆議院議員	新藤 義孝	様(埼玉第2区)	衆議院議員	中根 一幸	様(比例区)
衆議院議員	黄川田仁志	様(埼玉第3区)	衆議院議員	小宮山泰子	様(比例区)
衆議院議員	穂坂 泰	様(埼玉第4区)	衆議院議員	野中 厚	様(比例区)
衆議院議員	枝野 幸男	様(埼玉第5区)	衆議院議員	鈴木 義弘	様(比例区)
衆議院議員	大島 敦	様(埼玉第6区)	衆議院議員	奥水 恵一	様(比例区)
衆議院議員	中野 英幸	様(埼玉第7区)	参議院議員	関口 昌一	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	柴山 昌彦	様(埼玉第8区)	参議院議員	西田 実仁	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	大塚 拓	様(埼玉第9区)	参議院議員	古川 俊治	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	山口 晋	様(埼玉第10区)	参議院議員	矢倉 克夫	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	森田 俊和	様(埼玉第12区)	参議院議員	上田 清司	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	土屋 品子	様(埼玉第13区)	参議院議員	熊谷 裕人	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	三ツ林裕巳	様(埼玉第14区)	参議院議員	高木 真理	様(埼玉選挙区)
衆議院議員	田中 良生	様(埼玉第15区)			
			合計	27名	

## 埼玉県議会議員の皆様のご紹介

御出席の埼玉県議会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を頂きました。(写真は御挨拶順)



小島信昭様



小谷野五雄様



立石泰広様



岡田静佳様



高橋政雄様



諸井真英様



齊藤邦明様



小川真一郎様



小久保憲一様



白土幸仁様



高橋稔裕様



細田善則様



千葉達也様



関根信明様



高木功介様



尾花瑛仁様



町田皇介様



武田和浩様

御祝辞を頂く前に退席された先生方（選挙区順）



自民党県議団長  
田村琢実様



藤井健志様  
(写真は前回のもの)



杉田茂実様



蒲生徳明様  
(写真は前回のもの)

御出席された埼玉県議会議員の先生方（選挙区順）

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 蒲生徳明 様(南1区 草加市)       | 岡田静佳 様(西1区 所沢市)                  |
| 立石泰広 様(南2区 川口市)       | 小谷野五雄様(西8区 日高市)                  |
| 関根信明 様(南4区 さいたま市北区)   | 小久保憲一様(西第13区(滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町)) |
| 藤井健志 様(南5区 さいたま市大宮区)  | 齊藤邦明 様(北3区 本庄市・神川町・上里町)          |
| 田村琢実 様(南6区 さいたま市見沼区)  | 小川真一郎様(北4区 深谷市・美里町・寄居町)          |
| 武田和浩 様(南6区 さいたま市見沼区)  | 杉田茂実 様(北5区 熊谷市)                  |
| 高木功介 様(南9区 さいたま市浦和区)  | 諸井真英 様(東2区 羽生市)                  |
| 高橋政雄 様(南9区 さいたま市浦和区)  | 千葉達也 様(東3区 加須市)                  |
| 小島信昭 様(南12区 さいたま市岩槻区) | 白土幸仁 様(東7区 春日部市)                 |
| 町田皇介 様(南13区 上尾市・伊奈町)  | 吉良英敏 様(東11区 幸手市・杉戸町)             |
| 尾花瑛仁 様(南13区 上尾市・伊奈町)  |                                  |
| 細田善則 様(南20区 戸田市)      | 合計 22 名                          |

急遽欠席となりましたが、ご協力頂いた埼玉県議会議員の先生  
中屋敷慎一 様 (南16区 鴻巣市)

さいたま市議会議員及び上尾市議会議員の皆様を紹介

御出席のさいたま市議会議員と上尾市議会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を頂きました。(写真は御挨拶順)



江原大輔様



神坂達成様



青羽健仁様



桶本大輔様



伊藤 仕様



吉田一志様



新井森夫様



金井康博様



関ひろみ様



服部 剛様



小森谷優様



上三信彰様



高柳俊哉様



新藤信夫様



渋谷佳孝様



阪本克巳様



御祝辞を頂く前に退席された  
萩原章弘様 (写真は前回のもの)



上尾市議会議員  
小川明仁様

御出席されたさいたま市市議会議員の先生方 (選挙区順)

上三信 彰様(西区)  
 金井 康博様(西区)  
 伊藤 仕 様(北区)  
 関 ひろみ様(北区)  
 渋谷佳孝 様(大宮区)  
 新藤信夫 様(大宮区)  
 服部 剛 様(大宮区)  
 小森谷 優様(見沼区)  
 高柳俊哉 様(中央区)

阪本克己 様(桜区)  
 青羽健仁 様(浦和区)  
 桶本大輔 様(南区)  
 萩原章弘 様(南区)  
 神坂達成 様(緑区)  
 新井森夫 様(岩槻区)  
 江原大輔 様(岩槻区)  
 吉田一志 様(岩槻区)

合計 17 名

## 御出席された市長、町長の皆様のご紹介

御出席の市長、町長の皆様にそれぞれ御祝辞を頂きました。(写真は御挨拶順)



御祝辞を頂く前に退席された  
桶川市長 小野克典様



蓮田市長  
山口京子様



杉戸町長  
窪田裕之様

引き続き、御来賓から御祝辞を頂きました。



埼玉県農林部長  
横塚正一様



埼玉県農業政策課長  
中村真也様



右から

- 境 政人 日本獣医師会副会長兼専務理事
- 駒田逸哉 日本獣医師会事務局長
- 村田暁俊 埼玉県医師会事務局長
- 福田和明 埼玉県農業共済組合副組合長理事
- 丸山盛司 埼玉県畜産会専務理事



顧問弁護士  
高橋謙治様



下蘆学園理事長  
下蘆恵子様



(株)ヘリテージリゾート社長  
杉田憲康様



(株)埼玉新聞社  
代表取締役社長 関根正昌様



(株)テレビ埼玉クリエイティブ  
常務取締役 松本嘉雄様



右から  
埼玉りそな銀行岩槻支店長 福岡大介様  
武蔵野銀行地域サポート部長 関谷宏之様  
日本政策金融公庫さいたま支店  
国民生活事業統括 都筑栄太様



右から  
さいたま商工会議所理事兼事務局長 黒金英明様  
さいたま観光国際協会常務理事 阿久津基様



(株)アスコ  
東日本支店長  
小楠文昭様



(株)アサヒコミュニ  
ケーションズ顧問  
新井正敏様



森久保CAメディカル(株)  
埼玉営業所長  
白井孝輔様



日本全薬工業(株)  
埼玉営業所長  
水戸幸一様



アクティ(株)  
さいたま第二営業所長  
清水政宏様



多くの御来賓と会員で賑わう懇親会の会場

## (4) 祝電の披露

司会者から次の皆様から頂いた祝電・メッセージが披露されました。

衆議院議員	大島 敦 様	川口市長	奥ノ木信夫 様
衆議院議員	中根 一幸 様	春日部市長	岩谷 一弘 様
衆議院議員	大塚 拓 様	越谷市長	福田 晃 様
埼玉県議会議員	鈴木 正人 様	戸田市長	菅原 文仁 様
埼玉県議会議員	日下部伸三 様	ふじみ野市長	高畑 博士 様
埼玉県議会議員	柿沼 貴志 様	埼玉県医師会会長	金井 忠男 様
埼玉県市長会会長(朝霞市長)		埼玉県歯科医師会会長	大島 修一 様
富岡 勝則 様		(株)武蔵野銀行頭取	長堀 和正 様
			(順不同)

## (5) 締め

宴もたけなわとなり、野澤裕子埼玉県食品衛生安全局長、橋谷田元埼玉県参事兼生活衛生課長、坂梨栄二埼玉県食品安全課長、渡辺志保埼玉県畜産安全課長による手締めが行われました。

## (6) 閉会

閉会にあたり宗像俊太郎副会長が御参加いただいた方々に御礼を述べ、懇親会は午後7時に散会となりました。



左から 橋谷田元参事兼生活衛生課長、野澤裕子食品衛生安全局長、坂梨栄二食品安全局長、渡辺志保畜産安全課長

## 第41回ソフトボール大会の開催について

ソフトボール大会につきましては、令和元年度は県内の豚熱発生により開催を中止し、その後、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となっております。

今年度の開催について厚生委員会で協議し、10月9日(月・祝)に「大宮けんぼグラウンドSフィールド(さいたま市西区ニツ宮)」の4面を使用して開催することとしました。

なお、当日が雨天などで開催できない場合は順延せずに中止となります。

対戦表など詳細につきましては、次号会報でご案内させていただきます。

### ～大宮けんぼグラウンドまでの交通～



#### ●車を利用

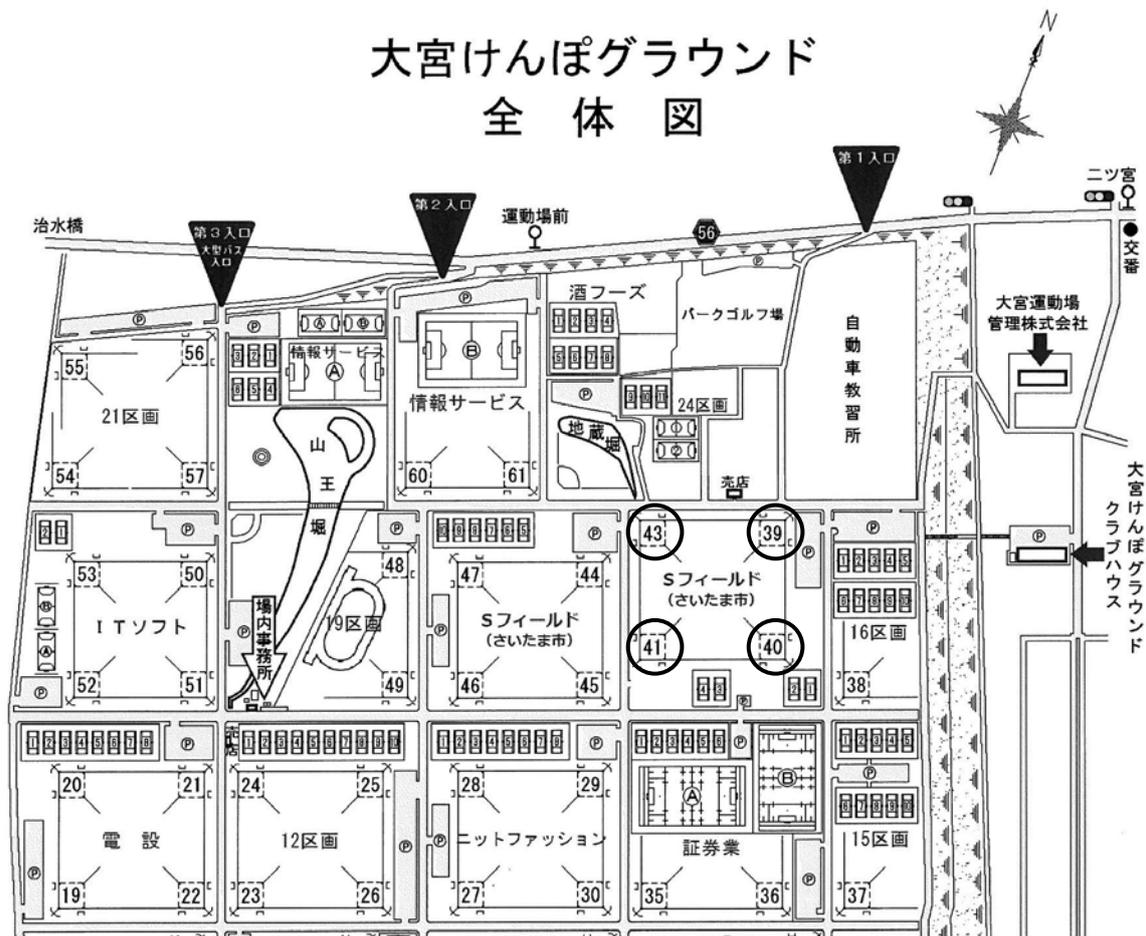
(1)国道17号新大宮バイパス「三橋交差点」から所沢方面(治水橋の手前)

#### ●電車、バスを利用

(1)大宮駅西口 西武バス1番乗場

「ららぽーと富士見行き」か「馬宮団地行き」に乗車  
「運動場前」下車(所要時間20分)

### ～大宮けんぼグラウンド内施設の案内図～



## 厚生委員会(書面協議)

令和5年7月19日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

### 協議事項

第41回ソフトボール大会の開催について

令和5年10月9日(月・祝)に大宮けんぼグラウンドSフィールドで開催することについて協議したところ、委員全員の賛成により承認された。

## 第3回理事会

令和5年7月14日(金)午後1時30分から、埼玉県農業共済会館において次の事項を審議した。

### 1 決議事項

第1号議案 新入会員の承認に関する件

農林支部の新入会員6名が承認された。

第2号議案 集合狂犬病予防注射実施班班長の承認に関する件

各支部から選出された班長26名が承認された。

第3号議案 役員退任慰労金等の支給に関する件

役員の報酬等に関する規程に定められた退任慰労金を支給することが承認された。

### 2 協議事項

(1) 委員の選任に関する件

各支部から推薦された各委員会の委員について承認された。

(2) 令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉)獣医学術関東・東京合同地区学会に関する件

7月9日(日)にソニックシティにおいて開催された、関東・東京合同地区獣医師会第2回理事会及び第2回幹事会の結果が説明され、9月3日(日)の開催内容について確認した。

(3) 今後の日程について

今後の各行事の日程について協議した。

## 新入会員報告

## 新入会員紹介



えんどう みちる  
遠藤 みちる  
農林支部



きたやま みゆう  
北山 美優  
農林支部



きのした こういち  
木下 耕一  
農林支部



たかはし ゆき  
高橋 友希  
農林支部



ほん ゆじょん  
洪 裕天  
農林支部



まつだ ゆきの  
松田 友紀野  
農林支部



ただ ももか  
多田 百花  
団体支部



かさい じろう  
笠井 二郎  
団体支部



おがわ あきら  
小川 晃朗  
団体支部



ごんだ けんご  
権田 健吾  
団体支部



さかもと きょう  
坂本 喬  
団体支部



せきじま みな  
関島 光菜  
団体支部



たかしろ さき  
高城 早希  
団体支部



たにうら しゅう  
谷浦 秀  
団体支部



とくなが かずま  
徳永 和真  
団体支部



むらかみ りょう  
村上 凌  
団体支部



ゆもと ゆうき  
湯本 優希  
団体支部



わかやま けんご  
若山 賢人  
団体支部

## 勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
農林	遠 藤 みちる	埼玉県熊谷家畜保健衛生所
〃	北 山 美 優	埼玉県中央家畜保健衛生所
〃	木 下 耕 一	埼玉県秩父高原牧場
〃	高 橋 友 希	埼玉県川越家畜保健衛生所
〃	洪 裕 天	埼玉県川越家畜保健衛生所
〃	松 田 友紀野	埼玉県熊谷家畜保健衛生所
団体	多 田 百 花	加須市・高橋動物病院
〃	笠 井 二 郎	志木市・志木いわい動物病院
〃	小 川 晃 朗	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	権 田 健 吾	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	坂 本 喬	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	関 島 光 菜	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	高 城 早 希	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	谷 浦 秀	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	徳 永 和 真	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	村 上 凌	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	湯 本 優 希	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	若 山 賢 人	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター

## 予 告

## 令和5年度千葉県獣医師会第2回学術セミナーの開催について

関東・東京地区各獣医師会長 様

公益社団法人千葉県獣医師会  
会 長 市川 陽一朗

小暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろより本会事業につきまして、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、標記のセミナーを下記のとおり開催いたします。

貴会会員の先生方には無料で聴講していただけますのでご案内申し上げます。

参加の場合には、8月18日までにWEB申込フォームからご登録ください。

後日、招待メールをお送りします。

つきましては、お忙しい折 誠に恐縮に存じますが、宜しければ、貴会所属関係会員の皆様へのご周知並びにご参加の呼びかけをして頂けますようお願い申し上げます。

なお、獣医師会会員を対象としたセミナーですので、会員外の先生への転送はご遠慮ください。

## 記

1. 配信日時：令和5年8月27日(日) 14:00~16:00
2. 開催方法  
WEBでの視聴(要事前申し込み)
3. 講演：  
「犬猫の行動学とストレスケア～脳と腸の関係を知る～」  
講師：東京農工大学 入交 眞巳 先生

後援：物産アニマルヘルス株式会社

4. WEB視聴お申込み：  
下記のWEB申込フォームURIまたは、QRコードからお申込みください。  
申し込み締め切り令和5年8月18日。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdmepJyPWHQ19\\_mc9-liol4Wm8J6Jq3\\_J9HPnaBJ872CfdJtw/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdmepJyPWHQ19_mc9-liol4Wm8J6Jq3_J9HPnaBJ872CfdJtw/viewform?usp=sf_link)



ピュリナ プロプラン ベテリナリーダイエット  
“カーミングケア” 録画配信セミナー



## 犬猫の行動学とストレスケア

～脳と腸の関係を知る～

講師



**入交 眞巳 先生**

東京農工大学 動物医療センター  
動物行動科  
米国獣医行動学専門医

「脳腸相関」という言葉を聞いたことがありますか？  
脳と腸は自律神経、ホルモン、サイトカインなどの情報伝達系を介して双方で影響しあっています。そこで腸の環境を整えたら脳はどうなるのか？を見ていきましょう。



開催日時

2023年8月27日(日) 14:00～16:00

対象：獣医師、その他病院スタッフ

開催形式

ZoomによるLIVE配信

■ 本セミナーに参加希望の方は、下記URLもしくはQRコードより参加登録を行ってください。

参加登録URL:

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdmepJyPWHQ19\\_mc9-liol4Wm8J6Jq3\\_J9HPnaBJ872CfdJtw/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdmepJyPWHQ19_mc9-liol4Wm8J6Jq3_J9HPnaBJ872CfdJtw/viewform?usp=sf_link)

申し込み期限：8月18日(金)まで



※本セミナーはZoomでの配信となります。Zoomのご利用経験がない方は、事前にアプリのインストールをお願いします。

ご不明な点は、物産アニマルヘルス(株)営業担当までお問い合わせください。

## おしらせ

畜安第383-2号  
令和5年7月7日

公益社団法人 埼玉県獣医師会長 様

埼玉県農林部畜産安全課  
課長 渡辺 志保 (公印省略)

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について (通知)

日頃より本県の家畜衛生行政に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条第1項の規定により読み替えて適用される同法第44条第2項及び第49条第1項の規定に基づき、下記のとおり農林水産省令が公布、施行されました。

つきましては、貴会会員へ周知いただくとともに動物用医薬品の適切な使用について御協力をお願いいたします。

記

1 改正の内容

猫の腎性貧血に使用されるポリエチレングリコール付加ネコエリスロポエチン（遺伝性組み換え）を有効成分とする製剤の製造販売承認に伴う当該製剤の要指示医薬品及び劇薬への指定。

2 施行期日

令和5年7月7日

3 今般承認される動物用医薬品の概要

販売名：エポベット（日本全薬工業株式会社）

効能又は効果：猫の腎性貧血

畜安第376-3号  
令和5年7月26日

公益社団法人 埼玉県獣医師会会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長  
渡辺 志保（公印省略）

#### 夏季休暇期間における家畜防疫対策の徹底について（依頼）

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。  
高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫等に係る防疫対策については、これまでも繰り返し、まん延防止対策の徹底等をお願いしてきたところです。

アジア・ヨーロッパ各地で家畜の伝染病の発生が続いており、日本への侵入リスクは依然として高い状況の中、これから夏季休暇期間を迎えるにあたり、日本人観光客も多く渡航することが想定され、家畜防疫対策の徹底を図る必要があります。

なお、豚熱については、令和5年7月22日に兵庫県で今年度初の発生が確認されております。

については、別添令和5年7月2日付け5消安第2446号（農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）を踏まえ、家畜を飼養する貴会会員に、飼養衛生管理基準の遵守と、下記についての周知をお願いいたします。

#### 記

##### 1 畜産関係者等の海外渡航の自粛等

- (1) 畜産関係者等に対して、改めて、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域への不要不急の渡航の自粛すること。
- (2) 外国人技能実習生を受け入れている畜産関係者等においては、携帯品や国際郵便による肉製品等の持込み禁止について周知徹底するとともに、従業員が受け取る国際郵便等の中に動物検疫を受けていない肉製品等を確認した場合には直ちに動物検疫所に連絡すること。

##### 2 衛生管理区域及び畜舎内への病原体の持込みの防止

- (1) 飼養管理に関係ない者が衛生管理区域、特に畜舎に立ち入ること又は不要な物を持ち込まないよう、看板の設置等を行うこと。
- (2) 農場従業員も含め、衛生管理区域、特に畜舎に立ち入る場合には、飼養衛生管理基準に従い、適切に専用の衣服や手袋・長靴の着用し、衣服等の着用前後で動線が交差しないようにすること。
- (3) 農場内及び畜舎、車両、人、物品等の消毒を励行すること。消毒に当たっては、有機物の存在を前提に消毒前に、汚れを落とし適切な濃度の消毒薬を用いること、踏込消毒槽など一定期間蔵置する消毒薬は汚れた都度、汚れがなくとも1日1回

は交換すること。

- (4) 野生生物の侵入防止のための防護柵や防鳥ネットの設置、畜舎の壁、天井等の穴、隙間等の破損の有無の定期的な点検を指導するとともに、不適切な設置又は設備の不備を認めた場合は直ちに改善を図ること。

### 3 毎日の健康観察並びに異状の早期発見及び早期通報の指導

家畜の所有者、従業員に対し、健康観察を綿密に行い、特定症状等の早期発見に努めるとともに、異状を認めた場合は家畜保健衛生所に早期通報すること。

### 4 疾病発生時の円滑な防疫措置に必要な事前準備

- (1) 家畜の所有者は、防疫措置に伴い必要となる埋却地、焼却施設等の準備状況について改めて確認を行い、万が一の発生に備え実効性を確保すること。

特に、埋却地については、人家、飲料水、河川若しくは道路に近接しないなど家畜伝染病予防法施行規則第30条に定める基準への適合を踏まえて選定すること。

- (2) 自己所有地以外の土地を候補地とする場合には、地権者と土地利用に関する契約を取り交わし、契約書の写しを管轄する家畜保健衛生所へ提出すること。

- (3) 焼却施設については、施設管理者と施設利用に関する調整を行うとともに、施設利用時の要件や準備事項等の確認を行うこと。

### 5 緊急時における連絡体制の確保及び周知

夜間、休日の家畜保健衛生所への連絡先について改めて確認すること。

※別添省略

事 務 連 絡  
令和 5 年 8 月 3 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
専務理事 境 政 人

**医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について（施行通知）**

このことについて農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 課長補佐（薬事監視指導班担当）から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令（平成 19 年厚生労働省令第 14 号）の一部を改正する省令（令和 5 年厚生労働省令第 98 号）が令和 5 年 7 月 25 日付けで公布され、令和 5 年 8 月 4 日から施行されることについて、厚生労働省医薬・生活衛生局長から別添写しのとおり通知があった旨、会員への周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者への周知方、よろしくお願いいたします。

※別添省略

5日獣発第120号  
令和5年6月28日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内勇夫  
(公印及び契印の押印は省略)

### 産業動物診療における遠隔診療の積極的な活用のための 補助事業及び助成事業について（お知らせ）

日頃より本会事務事業にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

家畜における遠隔診療については、令和3年12月に「家畜における遠隔診療の積極的な活用について」（令和3年12月15日付け3消安第4800号農林水産省消費・安全局長通知、令和4年1月12日付け3日獣発第275号により通知済）、令和4年8月に「家畜における遠隔診療の積極的な活用に係る家畜の動物用医薬品の取扱について」（令和4年8月16日付け4消安第2457号農林水産省消費・安全局畜産安全管理課長通知、令和4年9月27日付け4日獣発第150号により通知済）が発出され、積極的な活用が期待されているところです。

そこで本会では、情報通信機器を活用した畜産基盤整備のための獣医療提供体制の強化・整備により、場所を選ばない迅速な診断を可能とする遠隔診療の普及を図るため「令和4年度産業動物遠隔診療推進事業」及び「令和5年度地域獣医療体制整備支援事業」（農林水産省補助事業）を実施するとともに、産業動物獣医師の診療における画像診断技術の活用により、遠隔獣医療技術の向上及び全国的な情報共有・交換体制を構築することを目的として、「令和5年度遠隔獣医療技術向上・普及体制構築支援事業」（日本中央競馬会畜産振興事業）を実施しています。

つきましては、本事業を広くご活用いただき、産業動物診療における遠隔診療の普及・実施に積極的に取り組んでいただきますよう、貴会会員に周知方よろしく願いいたします。

5日獣発第125号  
令和5年6月28日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内勇夫  
(公印及び契印の押印は省略)

**「家畜人工授精に関する講習会、家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会並びに家畜人工授精並びに家畜体内受精卵移植及び家畜体外受精卵移植に関する講習会の運営等について」の一部改正について**

このことについて、令和5年6月21日付け5畜産第615号により農林水産省畜産局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、令和4年6月3日に開催された第4回デジタル臨時行政調査会において、「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」が策定され、この中で、代表的なアナログ規制7項目に関する通知・通達等の見直しを実施することされ、家畜人工授精に関する講習会等についても、開催者や受講者の通信状況等に応じてデジタル技術の活用を進めることとされたところです。

今般、オンライン開催のほか、講習会の共催や外部の講師、施設等の活用に係る考え方を明らかにし、効率的な運営を図るため、「家畜人工授精に関する講習会、家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会並びに家畜人工授精並びに家畜体内受精卵移植及び家畜体外受精卵移植に関する講習会の運営等について」（平成4年11月19日付け4畜A第2651号農林水産省畜産局長通知）を別紙のとおり改正した旨、会員への周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に通知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

5日獣発第127号

令和5年7月5日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏内 勇夫

(公印及び契印の押印は省略)

### 令和5年毎月勤労統計調査特別調査への調査協力依頼について

このことについて、令和5年6月15日付け政統発0615第2号をもって厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、統計法に基づく基幹統計調査である「毎月勤労統計調査」のうちの「特別調査」のために、本会会員の事業所に都道府県の統計調査員が訪問した際は、調査に協力するよう周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡  
令和5年7月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
専務理事 境 政 人

### オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について（情報提供）

このことについて、厚生労働省健康局結核感染症課から、別紙のとおり通知がありました。

今般、別添1のとおり、2022年初夏に心筋炎で亡くなられた患者について、国立感染症研究所等における検査の結果、オルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属するウイルスで、2018年に国内のマダニから初めて分離・同定されたオズウイルス（Oz virus）による心筋炎と診断されたことが報告されました。これまでヒトを刺咬するマダニで検出されており、感染マダニの刺咬により感染する可能性が考えられますが、感染経路について現時点で確立された知見は得られていません。

つきましては、別添2及び3のとおり本症例に関するQ&Aなど、資料を取りまとめましたので、本件について、会員に周知を依頼されたものです。

なお、本症例に関わらず、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱、つつが虫病等のダニ媒介感染症については、継続して患者の発生が報告されています。マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になることから、【参考資料1】

「獣医療関係者における動物由来感染症予防対策の啓発について」（平成31年3月13日付け厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）及び【参考資料2】「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）」（令和5年5月22日付け厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）の内容についても、改めて貴会会員に周知いただきますよう、御配慮のほどよろしく願いいたします。

※別紙省略

事 務 連 絡  
令 和 5 年 7 月 12 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
専務理事 境 政 人

## 「第2回愛玩動物看護師国家試験」広報リーフレットについて

日頃より本会事務事業にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、第2回愛玩動物看護師国家試験について、農林水産省及び環境省の共同により広報リーフレットが作成されましたのでお知らせいたします。

本リーフレットは農林水産省及び環境省ホームページにデータが掲載されているとともに、小動物診療分野に従事する会員構成獣医師を対象として、日本獣医師会雑誌第76巻第7号に同封していることを申し添えます。

なお、日獣会誌に同封された印刷版リーフレットについて、若干の残部がございますので、必要の際はご相談ください。

農林水産省ホームページ

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/doubutsu\\_kango/](https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/doubutsu_kango/)

環境省ホームページ

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/kangoshi/qualifi.html>

また、今年度は令和5年10月1日(日)に愛玩動物看護師国家試験予備試験が、令和6年2月18日(日)に愛玩動物看護師国家試験が開催されます。現任者が滞りなく予備試験及び国家試験を受けることができるようにご配慮いただきますよう、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 令和5年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和5年7月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月21日(水)		北支部 「最近の感染症の話題と獣医療ネットワーク」 東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター 水谷 哲也 先生 【Zoomにて開催】	
7月			
8月			
9月3日(日)	令和5年度 関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (さいたま市 ソニックシティ)		
10月			
11月			
12月1日(金) ~12月3日(日)	令和5年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (神戸市 神戸国際会議場)		
12月			
令和6年 1月	農林支部 令和5年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (場所 未定)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月			

広告

**Brenda<sup>®</sup> Z**  
ブレンダ<sup>®</sup> Z

動物用医薬品 要指示 指定

**犬膝炎急性期用抗炎症剤**

製造販売者  **日本全薬工業株式会社**  
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フレンダ及びBRENDAは石原産業株式会社の登録商標です。  
フレンダZは石原産業株式会社と日本全薬工業株式会社の  
共同開発により、製造販売承認を取得しました。

## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>  
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和5年

- |   |   |
|---|---|
| 7月9日 第2回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会(さいたま市 ソニックシティ) | 9月3日 令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会(さいたま市 ソニックシティ)         |
| 7月19日 農業共済損害評価会前大会地(さいたま市 埼玉県農業共済会館)        | 9月4日 関東・東京合同地区チャリティーゴルフコンペ(東松山市 東松山カントリークラブ)        |
| 7月21日 全国獣医師会事務・事業推進会議(東京都港区 明治記念館)          | 11月22日 全国獣医師会会長会議(東京都台東区 上野精養軒)                     |
| 7月22日 JAHA年次大会2023(東京都中央区 AP 東京八重洲)         | 11月23日 動物感謝デーin JAPAN(東京都台東区 恩賜上野公園)                |
| 8月3日 埼玉県狂犬病予防協会総会(さいたま市 さいたま共済会館)           | 12月1日 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会<br>～3日 年次大会(兵庫県神戸市 神戸国際会議場) |
| 8月6日 北支部学術講習会・納涼会(深谷市 埼玉グランドホテル深谷)          | 令和6年  |
| 8月8日 埼玉県畜産会臨時総会(熊谷市 ホテルヘリテージ)               | 2月25日 関東・東京合同地区獣医師会監査会・第3回理事会(さいたま市 ソニックシティ)        |

### 【お詫びと訂正】

会報第714号及び第715号に掲載した、令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉)、獣医学術関東・東京合同地区学会開催案内におきまして、「埼玉県獣医師会会員の参加費及び交流会費は本会が負担します。」と記載しましたが、「埼玉県獣医師会開業部会会員の参加費及び交流会費は本会が負担します。」の誤りでした。大変失礼いたしました。お詫びして訂正させていただきます。

### 広告

人が食べるものと同じだけ安全で  
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

**Dr. CREDO**

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

**No.1**

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

**No.2**

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

**No.3**

美味しさに  
自信

ドクターイデア

**Dr. IDEA**

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

**No.1**

体重管理に

**No.2**

7歳から

**No.3**

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



**森久保CAメディカル株式会社**

神奈川：046-206-5713 山梨：055-267-6758 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881  
三郷：048-948-2112 茨城：0296-54-6101 千葉：043-309-5430

## 編集後記

世界的な熱波が続く中、日本でも猛暑が続いている。気象庁によると、今年の夏は過去最高の気温を記録し、日本全国の多くの地域で熱中症患者が急増しており、動物の熱中症についても注意喚起しなければならない。そんな中動物の保護について考えさせられることがあった。

日本での犬・猫の殺処分数は10年前の時点で約16万頭であり、その後大幅に減少傾向にあるものの、依然として2022年には1万4千頭の犬猫が犠牲になっている。殺処分数減少の理由として民間の動物愛護団体が増加し、殺処分減少に貢献していること、2012年の動物愛護法改正により、自治体が引き取りを拒否することが可能となり、譲渡不適切な事例などを殺処分数としてカウントしないケースがあることなども考えられている。

一方動物福祉先進国のドイツでは、ほぼ殺処分ゼロを達成している。これはナチス政権時代に制定された「ライヒ動物保護法」で動物の保護を明言し、動物への残虐行為などの禁止事項が具体的にまとめられ、さらに1986年の改正では動物を人間の「同胞」と表現し、動物の地位がより高められることになったことによるところが大きいと考えられている。ドイツには基本的に犬猫のペットショップがなく、ブリーダーやティアハイムと呼ばれる動物保護収容施設から保護犬や保護猫を引き受ける文化が浸透している。ティアハイムは自身も5年前に視察に行ってきたが、ドイツ国内には約550カ所のティアハイムが存在し、最も大規模な「ティアハイムベルリン」

では年間1万～1万5千頭が収容され、約9割が譲渡されている。またのびのびした環境下で過ごす動物たちの展示には見るだけでも楽しめる工夫もされており、引取りのみならず、ただ動物を見に来る人たちが増えることで施設に訪れる人数も増え、保護動物の譲渡数にも良い影響を与えている。

しかしながら日本ではドイツのような大規模なティアハイムは存在せず、いまだドイツのように保護動物を受け入れる文化は浸透しているとはいえない状況である。

近年日本獣医師会の啓蒙により、ワンヘルスの考え方が浸透しているが、ワンウェルフェア(One Welfare)すなわち人の幸福(ウェルビーイング)と動物の幸福、そして環境は繋がっていて、どれか1つが欠けてしまうとより良く生きることができないという概念についても理解することが重要である。殺処分ゼロによる社会的効果として、地域社会全体の動物愛護の意識を高められることがあげられるが、殺処分ゼロという数字だけを追いかけるのではなく、動物の幸福や福祉すなわちアニマルウェルフェアを社会全体で重んじる世の中にならなければならない。

日本をドイツのような世界一の動物福祉先進国にするために、行政や企業と連携し、今までにない形のティアハイムを作ることで、日本にも保護動物を受け入れる文化を醸成させることにより、人と動物が共生できる幸せな社会(One welfareな社会)の実現に貢献することできるのではないかと考えている。(黎明)



## 日本獣医師会・獣医師会活動指針

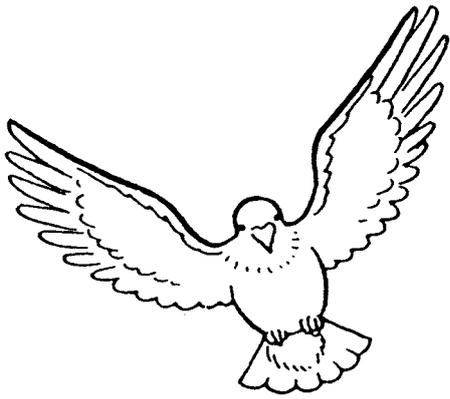
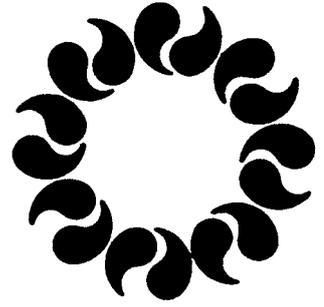
### － 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

#### 【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

# 彩の国



さいたま

